

# 地域共生社会の実現に向けた企業の取組について

～今どきもかいつ高齢者世帯を超えた「アソコ」「Hometown」～



▲代表取締役 福井 大輔 氏

地域の方にもアンダンチを知つてもらつことが大切だと考えます。「自立」って周りのサポートがあつてこそ成り立つ言葉だと思つてるので、「困つている、助けて」を地域でお互いに言い合える関係性が大事だと考へています。

最近、地域の人の交流の場として、小さな図書館をオープンしました。ここは、子育て支援団体の方々と共同で運営しています。地域の中ではつと落ち着けるような「まちのリビング」として、子育て世代を始め、様々な方に気軽に使つていただいています。その中で、今まで関わるのが希薄だった方の声を聞く機会ができ、アプローチできるようになつてきたことが新鮮ですね。

将来、やりたいことを教えてください。

「街づくり」をしている方々と連携したいです。

今後、どのような分野の方々と連携していくかと考えますか。

「街づくり」をしている方々と連携したいです。

弊社は福祉の会社と思つていないので、地域の方の声、会社スタッフの声を聞きながら、「期待」されることを行いたいです。

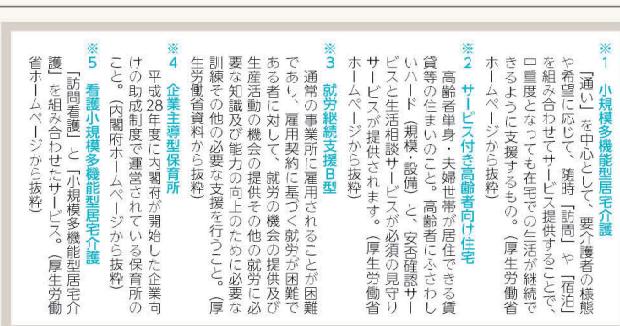
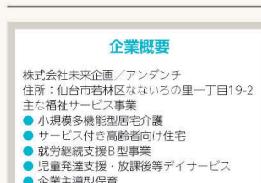


（県社協取材）

ました。

## 企業概要

株式会社未来企画／アンダンチ  
住所：仙台市若林区なないの里一丁目19-2  
主な福祉サービス事業  
●小規模多機能型居宅介護  
●サービス付き高齢者向け住宅  
●就労継続支援B型事業  
●児童発達支援、放課後等デイナービス  
●企業主導型保育



平成30年7月に仙台市若林区に開所した医療・福祉・介護の複合施設「アンダンチ」は、宮城の方々で、「あなたの家」（あんだけいえ）、「あんだんち」（あんだんち）から名付けられ、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用する複合施設であり、地域住民の憩いの場所でもあります。

地域に寄り添いながら成長を続ける株式会社未来企画の福井大輔代表取締役にお話を伺いました。

「施設ではなく、住まいなんですよ」

取材の冒頭で福井代表から発せられた言葉です。

**アンダンチの設立経緯を教えてください。**

大学卒業後、一般商社に勤めて

いましたが、腎臓内科医の義父の影響を受け、患者さんの住まいの必要性を感じて、一般商社を退職し、平成27年7月に小規模多機能ホーム（小規模多機能型居宅介護※1）を仙台市若林区荒井に開設しました。

また、地域住民の声を聞く中でこの小規模多機能ホーム開設後、病院の連携室や認知症の御家族から住まいに関する相談を受けるようになり、「地域で認知症の方でも安心できる住まいはできないものか」と考え、住まいの必要性を感じるようになりました。

ういう機能の施設があつたらいいな」と東京にある「暮らしの保健室」も参考にし、飲食店やサークル付き高齢者向け住宅※2、障害者の就労継続支援B型※3、企業主導型保育※4、看護小規模多機能型居宅介護※5を併設しました。

仙台市社会福祉協議会・若林区事務所さんの紹介でボランティアを受け入れています。また、社会福祉法人ライフの学校と連携し、職員が「マネジメント研修」を一緒に受講するなど、互いに刺激し合いながら積極的に関わりを持っています。

「地域とのつながり」のために行つてある具体的な取組を教えてください。

この若林区荒井という地域は移

**アンダンチにおける「地域共生社会の実現」に向けた役割がなければ教えてください。**

地域を深堀りすること。地域にいろいろな方がいますよね。私たちが地域の方を知ること、また、



▲アンダンチレジデンスの新ストーブのある談話室



▲あんだんち食堂（1F）、アンダンチ保育園（2F）の外観

**長引くコロナ禍で「地域とのつながり」を絶やさない工夫はありますか。**

コロナ禍で、どこに重点を置くかで悩みました。とにかく「つながりのある暮らし」を大事にしているので、過度な面会制限などは行つていません。

地域を深堀りすること。地域にいろいろな方がいますよね。私たちが地域の方を知ること、また、地域企画、施設内のスペースを子育てサークルに開放するなど、様々な世代の方が来てくることで、福祉や介護への理解にもつなげられているものと考えています。

